

ハンドルがない自律走行バスの実証実験を 「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」で実施

～車両内の乗客数とバス停での乗車待ちの人数をセンサーで検知し、
遠隔監視者がバスの出発時刻をリアルタイムで設定～

相模湖リゾート株式会社（本社：神奈川県相模原市、代表取締役社長：道本 晃一、以下「相模湖リゾート」）と富士急行株式会社（本社：山梨県富士吉田市、代表取締役社長：堀内 光一郎、以下「富士急行」）、ソフトバンク株式会社の子会社であるSBドライブ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：佐治 友基、以下「SBドライブ」）は、ハンドルがない自律走行バス「NAVYA ARMA（ナビヤ アルマ）」（仏 Navya 社製）の実証実験を、アウトドア施設と遊園地を組み合わせた複合型レジャーエリア「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」（神奈川県相模原市）で、2019年11月25日から12月1日まで実施します。

このたびの実証実験では、世界各地で走行実績がある「NAVYA ARMA（ナビヤ アルマ）」を、「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」の入園口から園内のテーマパーク「パディントン タウン」の入り口まで（約250m）走行させ、来園者の移動に活用します。将来の無人での運行を想定して来園者を効率的に輸送するために、車両内とバス停にセンサーを設置して、相模湖リゾートの事務所にいる遠隔監視者が車両内に着座した人数とバス停で待機している人数をリアルタイムに把握できるようにします。センサーで検知した人数を基に、遠隔監視者がSBドライブの自動運転車両運行プラットフォーム「Dispatcher（ディスパッチャー）」でバスの出発時刻をリアルタイムで設定することで、緊急時を除いて車内のオペレーターがバスの運行に関わる作業を行うことなく、効率的な運行を実現します。

相模湖リゾート、富士急行およびSBドライブは、このたびの実証実験で自律走行バスに関する技術や社会受容性の他、車両内の乗客数などを検知するセンサーの有用性を検証し、「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」に「NAVYA ARMA」を無人のシャトルバスとして導入することを目指します。

なお、今回の実証実験は、生活への影響や発展性、注目度などにおいて優れた生活支援ロボットに関する神奈川県のプロジェクト「最先端ロボットプロジェクト」を受託して実施するものです。

■実証実験の概要

1. 実施期間

2019年11月25日（月）～12月1日（日）
※ 11月25日（月）の午前中および28日（木）を除く。

2. 運行時間

午前10時～午後4時（予定）

3. 運行ルート

「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」入園口と園内のテーマパーク「パディントン タウン」の入り口間（約250m）

4. 乗車料金

無料（「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」への入園には料金がかかります）

5. 乗車条件

試乗に関する同意書への署名が必要です。また、20歳未満の場合は親権者または法定代理人の同意が必要な他、小学生以下の場合は20歳以上の保護者の同伴も必要です。なお、事前予約は不要です。

■ 各社の主な役割

相模湖リゾート	「Dispatcher」を利用したバスの遠隔監視、走行環境の整備、来園者への周知
富士急行	
SBドライブ	車両および「Dispatcher」の提供、ルート設定などの走行準備

■ 「NAVYA ARMA」の走行イメージ



- Dispatcherは、SBドライブ株式会社の商標です。(商標登録出願中)
- このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- このプレスリリースに記載されている内容、製品・サービスの価格、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のもので、これらの情報は予告なしに変更される場合があります。